

日本初のサハリン（含旧ソ連地域）残留邦人のための共同墓所（慰霊碑） 落成式典・慰霊祭ならびに記者会見のご案内

昨年11月の報道発表以来、道内各メディアに取りげられ大きな反響を呼びましたサハリン残留邦人のための共同墓所が完成し、5月14日（土）に慰霊祭を兼ねた落成式典を現地にて開催する運びとなりました。

様々な理由により戦後、樺太ならびに旧ソ連地域に残留を余儀なくされた方々について、約25年前に始まった一時帰国・永住帰国事業により、当協会を通してこれまでに延べ約3360人が一時帰国し、134世帯、303人が永住帰国を果たしました。しかし祖国日本の土に還ることを希望して永住帰国した方々は、経済的な理由から個人で高額な墓を購入することができず、遺骨がサハリンに戻されてしまうケースもみられるなど、「死んだらどうなるのか」と不安を募らせていました。一方で、国による帰国事業開始が遅かったために、ついに帰国できずに亡くなった方、国が設定した永住帰国の要件を満たすことができずに永住帰国の希望が叶えられず亡くなった方も数多くいらっしゃいます。こうしたことから当協会では、日本に永住帰国したのちに亡くなった方々の墓を建設するにあたり、祖国に還ることが叶わなかった方々の「魂の抛り所」としての慰霊碑の機能をも付与した墓碑の建設を目指しました。こうした施設は北海道はもとより日本で初めて建設されるものです。落成式当日は、祖国に還ることが叶わなかった多くの残留邦人の慰霊祭を行った後に、共同墓所完成式典と当協会会員2名の納骨式ならびに献花を行います。また日本に遺骨のない方々のために、墓石下の納骨室には写真を納める場所を作り、さらに故人の生きた証として墓碑銘を刻むことにいたしました。

なおこの件につきましては、サハリン日本人会（サハリン北海道人会）の白畑正義会長がサハリンより訪日し、記者会見を行います。白畑会長自身も祖国への帰還が叶わずに亡くなった両親の写真をこの墓に納め、その名前を墓碑銘に刻むことにしています。

新年度のお忙しい時期とは存じますが、なにとぞご取材くださいますようお願い申し上げます。

【記者会見】

5月12日（木）11:00～ 北海道庁記者クラブ

出席者：白畑正義（サハリン日本人会会長）、斎藤弘美（NPO 法人日本サハリン協会会長）

【慰霊祭・落成式典】

日 時：5月14日（土）14:30～15:30（受付開始14:00）

会 場：藤野聖山園（〒061-2271 札幌市南区藤野901番地 TEL011-592-1350）

式次第：14:30～サハリン・旧ソ連地域残留邦人慰霊祭（於：墓地内特設テント）

15:00～納骨式・参列者による献花（於：墓碑前）



「完成予想図（イメージCG）提供：山崎石材工業」

※詳細については別紙をご覧ください。

NPO 法人日本サハリン協会

担当：斎藤弘美

〒151-0065 東京都渋谷区大山町46-5-202

TEL 03-5453-2931 FAX 03-5453-2936

E-mail info@sakhalin-kyoukai.com

URL <http://sakhalin-kyoukai.com>

サハリン(樺太) 残留邦人のための共同墓所建設 別紙資料 - 1

2016年4月8日
NPO 法人日本サハリン協会

建設の経過

2015年4月定例総会にて「サハリン(樺太) 残留邦人のための共同墓所」建設を決議

10月27日 札幌市の藤野聖山園、滝川市の山崎石材店と契約

*山崎石材店より提案された墓碑デザインを決定

11月1日 建設賛助金募集開始(目標額400万円)

11月9日 北海道庁記者クラブにて報道発表

11月10日 札幌市周辺の永住帰国者対象の説明会(以後、旭川・稚内でも実施)

*ロシア語の説明パンフレットを永住帰国者に配布

2016年1月末までに賛助金目標額400万円に到達(維持運営基金とするため賛助金募集は継続)

2月29日 納骨、写真収納、墓碑銘刻印希望者募集締め切り

墓石デザイン(完成予想CG図参照) *デザイン: 山崎石材店



墓石は台座部分を合わせて高さ2.1mのタワー型(色はブルーパール)。左右2つの部分からなっており、それぞれが日本とサハリンをイメージしています。2つの石の間の先端には、日本とサハリンを「隔て」「繋ぐ」海と空をイメージさせる青いガラスを埋め込みました(4cm厚キャストガラス)。さらにそれぞれの石には日本とサハリンを自由に行き来するカモメ(ロシア語では「チャイカ」)が彫られ、死後の魂はカモメのように日本とロシアを自由に行き来してほしいとの願いをこめています。

墓石背後には残留邦人の存在と墓碑建立の意義について日本語とロシア語で記した碑文を、墓碑脇には故人の名前を日本語、ロシア語表記で記した墓碑銘を建てます。日本の墓の場合は没年月日のみが記されますが、ここではロシア式に没年月日とともに生年月日を記載し、故人の生きた年月を示すようにしています。また墓碑台座にはプレートに刻んだ寄付者名を貼り付けます。納骨室には特別に写真を入れることのできるスペースを用意し、遺骨のない方でも写真を入れることで納骨の代わりにしていただきます。また写真はいつでも入れられるように墓石台座に写真用ポストを備え付け、遺族がいつでも故人を迎えることのできる仕組みを工夫しています。

NPO 法人日本サハリン協会

担当: 斎藤弘美

〒151-0065 東京都渋谷区大山町 46-5-202

TEL 03-5453-2931 FAX 03-5453-2936

E-mail info@sakhalin-kyoukai.com

URL <http://sakhalin-kyoukai.com>

サハリン(樺太) 残留邦人のための共同墓所建設 別紙資料 -2

2016年4月8日
NPO 法人日本サハリン協会

今後のスケジュール

- 4月8日 落成式典についての報道発表
- 5月11日 サハリン及び旧ソ連地域より一時帰国者10名(本人5名介護人5名)訪日
- 5月12日 記者会見(サハリン日本人会会長 白畑正義が出席)
- 5月13日 定例総会・落成記念祝賀会を兼ねた懇親会
- 5月14日 共同墓所(慰霊碑)落成式典ならびに残留邦人慰霊祭

慰霊祭・落成式典

- 日 時 : 5月14日(土) 14:30～15:30(受付開始14:00)
- 会 場 : 藤野聖山園(〒061-2271 札幌市南区藤野901番地 TEL011-592-1350)
- 式 次 第 : 14:30～サハリン・旧ソ連地域残留邦人慰霊祭(於:墓地下内特設テント)
15:00～納骨式・参列者による献花(於:墓碑前)

- 参列予定者:主催者(NPO 法人日本サハリン協会、サハリン日本人会)
来賓(北海道庁・札幌市・稚内市関係者、在札幌ロシア総領事館、
全国樺太連盟会長、北海道日ロ協会会長ほか)
当協会会員 約70名(うち永住帰国者約40名)
- 納骨予定者:金川民子(夫 金川英男 2009年12月19日没)～稚内在住
川瀬信子(夫 金本 登 2015年12月16日没)～稚内在住
- 墓碑銘刻印希望者:30名
- 写真収納希望者:26名(3月31日時点)

*納骨及び墓碑銘刻印希望者の名簿ならびにプロフィール、エピソード等につきましては別途資料をご参照ください。

取材お申し込み・お問い合わせ

NPO 法人日本サハリン協会 斎藤弘美
Mobile Phone: 080-1027-5463
E-mail: info@sakhalin-kyoukai.com
URL: http://sakhalin-kyoukai.com
〒151-0065 東京都渋谷区大山町46-5-202
TEL 03-5453-2931 FAX 03-5453-2936

NPO 法人日本サハリン協会
担当: 斎藤弘美
〒151-0065 東京都渋谷区大山町46-5-202
TEL 03-5453-2931 FAX 03-5453-2936
E-mail info@sakhalin-kyoukai.com
URL http://sakhalin-kyoukai.com